

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達サポートCOCOLABO		
○保護者評価実施期間	令和7年11月15日		～ 令和7年12月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に、面談や子育てに関する助言などの支援が行われている。	お子様との信頼関係はもちろんですが、保護者の方との信頼関係も大切であることを職員間で共通認識しています。ご相談があった際にはすぐにフォローを行うことと必要に応じた連携を図るようにしています。	現状維持する中で、お子様、ご家庭のフォロー、職員間の情報共有などをしっかりと行い安心して通所していただけるように努めます。
2	事業所の職員から共感的に支援をされていると思う。	一方的な伝え方ではなく、保護者の思いや本人の意思も尊重した上でお話ができるように注意を図っております。	事業所内研修では、伝え方や伝わり方のロールプレイを実施し、あらゆる事例を検討しながら実際の現場で活かされるように取り組んでいます。
3	事業所の支援に満足している。	お子様が楽しく過ごせるようにプログラムの工夫や個々に合った療育教材の提供などを工夫しています。	プログラムの固定化にならないように職員間でアイデアを出し合って工夫します。登所を楽しみにしてくれるような支援を心掛けます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会。	夏休みには地域の子もたちと交流できるイベントなどを企画しましたが、希望者のみという形を取ったことで伝わりにくい状況であったと思います。また放課後児童クラブとなると、公立小学校に隣接されておりハードルが高く、実施には至っておりません。	来年度は希望者のみではなく、地域交流の場を設けたいと思います。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練。	避難訓練の様子や防災について学ぶ機会があることを保護者に向けて発信していきたいです。	非常時の引き渡し方などの訓練もご家庭に協力をしていただきながら開催したいです。
3	子どもの活動スペースを十分に確保。	必要に応じて部屋を分けたり、机や椅子の配置に工夫し活動スペースを確保しているが狭く感じる活動の日もある。	活動の工夫を行ったり、スペースを区切ったりすることで過ごしやすい環境をその都度工夫する。